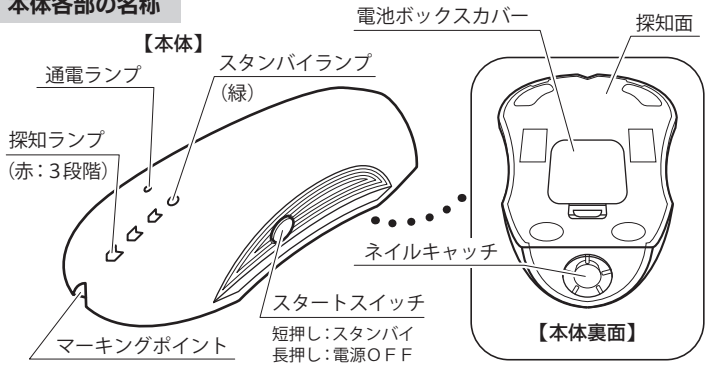


# ピラーズナビ

## 取扱説明書

### 本体各部の名称



### もくじ

- 本体各部の名称..... 1
- 仕様..... 1
- 用途..... 2
- 正確な探知ができない条件..... 2
- ましがえやすい探知事例..... 3
- 安全にご使用いただくために..... 3
  - △警告..... 3
  - △注意..... 3
- 準備..... 4
- 使用方法..... 5
  - 基準設定..... 5
  - 下地探知..... 5~7
  - 通電確認..... 7
  - ネイルキャッチ..... 7
- 故障かな?と思ったら..... 8
- 保守と点検..... 8
  - 作業後のお手入れ..... 8
  - 保管について..... 8
  - 修理について..... 8

### 仕様

最大探知深さ	約19mm
適応壁材	石膏ボード、ベニヤ板
適応下地材	木材、金属
機能	ACコンセント通電確認 ネイルキャッチ
オートオフ	約30秒
使用環境	温度: 0~40℃ 湿度: 20~70% ※屋内用
電源	9V角型乾電池×1 ※電池は付属しておりません。 別途お買い求めください。
本体サイズ	約160×75×40mm
本体質量	約94g (電池含まず)

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

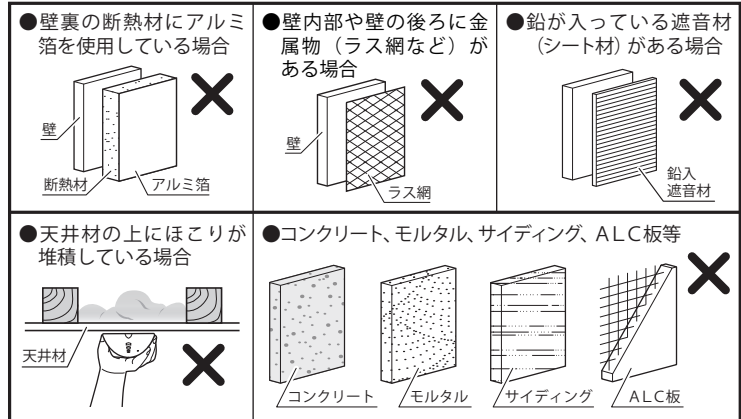
新潟精機株式会社

### 用途 ピラーズナビ

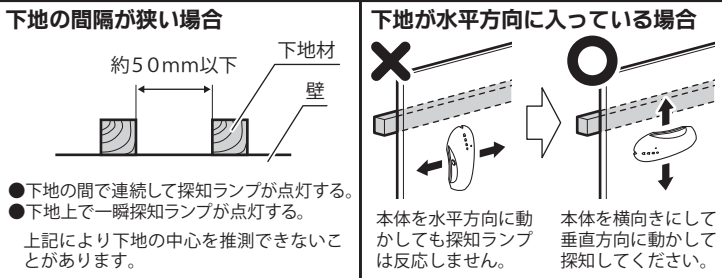
- 壁を傷つけることなく、簡単に壁裏の下地 (木製、金属製) の探知が可能です。額縁や家具の転倒防止金具等の取り付けに便利です。
- 測定場所付近のコンセントの通電確認を行うことができるため、壁裏にある活線を傷つけることによる感電事故を防ぎます。
- 探知ランプとブザー音により、柱の中心を見つけることができます。

### 正確な探知ができない条件

- 雨の中や水滴のかかる場所
- 浴室、台所など水の影響のある場所
- 壁表面、内部が結露しているとき
- 壁紙 (クロス) の接着剤が乾いていないとき (接着後1週間以上は乾かしてください)
- 外装材
- 表面の凹凸が1mm以上あるもの
- 表面密度が一定でない部材 (砂壁など)
- 厚みが3mm以上のウレタンフォーム
- 金糸、金箔など金属物が入った壁紙
- 内部の密度が均一でなかったり、気泡を含む壁材
- 適応壁材以外の壁材
- 電池の容量が少なくなっているとき



### ましがえやすい探知事例



### 安全にご使用いただくために

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。  
 本取扱説明書の注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分されています。

ご使用前に次の注意事項をよくお読みになって正しくお使いください。

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. 雨の中や、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。使用環境 (温度、湿度) が急激に変化すると、探知精度や探知能力が低下します。
2. 本製品は防水仕様ではありません。絶対に水に濡らさないでください。故障の原因となります。
3. 本製品の探知結果は、完全な安全性を保障するものではありません。壁や天井に穴あけ、切断などの作業を行う前に、あらかじめ図面等で壁裏の電線、ガス管、水道管などを確認してください。
4. 子どもを近づけないでください。また作業員以外作業場へ近づけないでください。
5. 使用中に本機の調子が悪かったり、異常音が発生した時は、直ちに電源スイッチを切り、使用を中止し、お買い求めの販売店または当社までご連絡ください。
6. 分解、改造をしないでください。
7. 本製品の用途以外のご使用はおやめください。

**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

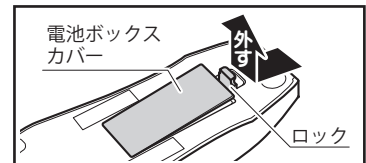
1. 作業場はいつも明るくきれいにしてください。
2. 誤って落としたりぶつけた時は、本体に破損や亀裂、変形がないことを確認してください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

### 準備

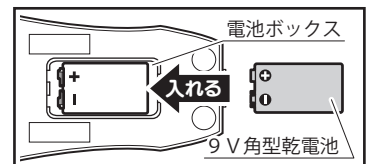
- △ 9V角型乾電池×1が必要です。電池は付属しておりませんので、別途お買い求めください。
- 本体探知面 (裏面) の白いテフロロン部6ヶ所には保護フィルムが貼られていますので、はがしてからご使用ください。

### 電池を入れる

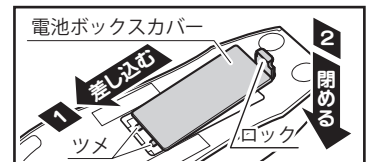
- ①電池ボックスカバーのロックを押し、上に引き上げて外します。



- ②電池ボックス内の+表示に合わせ、9V角型乾電池を入れてください。



- ③電池ボックスカバーのツメを本体に差し込み、ロックが『カチッ』とかかるまで、電池ボックスカバーを確実に閉めてください。



### 作動確認

ご使用前に本製品の作動確認を行ってください。

- ①空中でスタートスイッチを1回押してください。スタンバイランプ (緑) が点灯し、『ビピッ』と音が鳴ったらスタンバイ完了です。
- ②手のひらを本体の裏側に近づけてください。探知ランプが3つとも点灯し、『ピーッ』というブザー音が鳴り続けられ、正常に作動しています。



- 使用前に本体に損傷がないか十分点検してください。
- 壁に穴をあける時は壁裏の釘や配管、電線に気を付けて慎重に作業してください。

■基準設定

探知前に、壁裏に下地が無い状態を「基準」として、本体に設定します。

- ①本体の探知面（裏面）を壁にピタリと当てます。
- ②スタートスイッチを1回押してください。スタンバイランプ（緑）が点灯し、『ピピッ』と音が鳴ったら、基準の設定が完了です。



- スタンバイ中に本体を動かすと、基準が正しく設定されません。スタンバイ完了までは本体を動かさず、壁に当てたまま静止してください。
- スタートスイッチを押してしばらく待っても『ピピッ』という音が鳴らない場合は、場所を変えてもう一度、基準設定を行ってください。

■下地探知

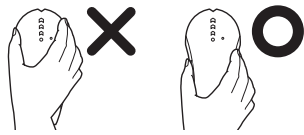
- ①基準設定後、探知面が壁から離れないよう、一定の圧力のままゆっくりと横方向へ探知していきます。



- 下地がある真上から探知を開始した場合、断続的な音とスタンバイランプ（緑）の点滅でお知らせします。探知開始位置を変えて、基準設定からやり直してください。

- 探知中に本体を持つ位置を変えたり、持ち手を変えたり、押し付ける圧力を変えたりしないでください。
- 探知するときは、必ず下図のように動かしてください。

●手の影響で正確な探知ができなことがありますが、グリップ部分以外を持たないでください。

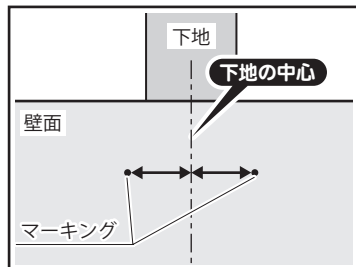


使用方法

- ② 2ヶ所のマーキングの中間が下地材の中心位置となります。

※下地材の正確な幅は、測定できません。

※壁面の1ヶ所の探知だけで下地の位置を判断するのではなく、その下地が通っていると推測される壁面を数箇所探知することにより、より正確な位置の判断が可能となります。



■通電確認

- ①スタートスイッチを1回押してください。

- ②通電しているコンセントに近づくと、通電ランプが点灯します。

※通電ランプが点灯した箇所付近で釘を打ち込む等の作業を行うと、壁裏の電線を傷つける恐れがありますので、ご注意ください。

※安全のため、図面での電線位置確認を行ってください。



■ネイルキャッチ

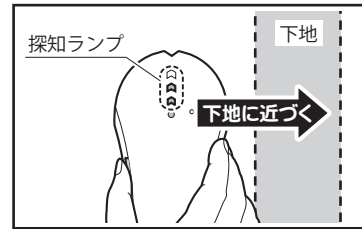
壁材を下地に固定しているねじを探することができます。

- ①本体のネイルキャッチが付いている面（側面）を壁にピタリと当て、ゆっくりと移動させてください。

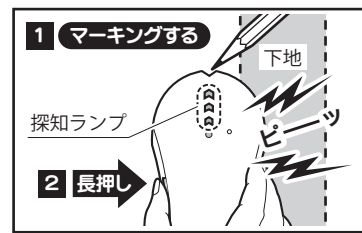
- ②ねじがある所で磁石が壁側に移動し、『カチッ』と音がします。



- ②壁裏に下地がある場合、下地に近づくと探知ランプが下から上へ順に点灯します。

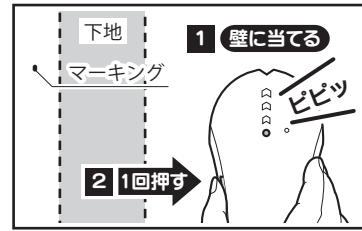


- ③さらに探知を続けると、『ピーッ』とブザー音が鳴り、すべての探知ランプが点灯します。その位置でマーキングしてください。



- ④マーキングが終わったら、スタートスイッチを長押しして、電源をOFFにしてください。

- ⑤電源をOFFにしたら、本体を持ち上げ少し離れた位置の壁にピタリと当て、再度基準設定を行います。



- ⑥基準設定が完了したら、③で付けたマーキングに向かって探知します。

- ⑦再度『ピーッ』とブザー音が鳴り、すべての探知ランプが点灯した位置で、マーキングしてください。



故障かな？と思ったら

問題	原因	解決方法
●『ピピピピッ』と断続的なエラー音が鳴る。	●壁内の密度の高い場所や下地の真上から探知を開始した。 ●探知中にぶれたり、壁から離れたりした。	●探知開始位置を左右どちらか数センチ移動した所から始めてください。 ●表面が粗い壁等には、紙等を当てて本体がなめらかに動くようにしてください。本体が下地や探知物と並行になるように、壁に当てる力を均等にしてスライドさせてください。
●反応する所が多すぎる。 ●下地がない所で反応する。	●下地以外のものを探知している。 ●壁内に電気配線や金属・プラスチック製の管がある。 ●壁内または壁の表面に湿気や虫食い、気泡等がある。	●探知したものが縦方向の下地が確認するには、マーキングした場所の約20センチ下でも同様に反応するか確認してください。 ●湿気が乾くのを待ってください。 ●針式の下地探知を使用してください。
●下地があるはずの所で反応しない。	●電池の残量が少なくなっている。	●新しい電池に交換してください。
●通電ランプが頻繁に点灯する。	●静電気に反応している。	●本体探知面（裏面）の白いテフロン部にハンカチを当てて放電させてください。

保守と点検

■作業後のお手入れ

- 汚れなどを乾いた布でふき取り、使いやすい状態にしておいてください。
- 本体は定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店または、当社までご連絡ください。

■保管について

使用しない場合はきちんと保管してください。長期間使用しない場合は、本体から電池を外してください。また、次の場所には保管しないでください。

- 軒先等雨がかったり、湿気のある所
- 直射日光の当たる所
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 車の中

■修理について

- 本取扱説明書に沿った使用方法を行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたらお買い上げの販売店または、当社までご連絡ください。
- お問い合わせや、ご連絡がないまま直接修理品等を送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。